



キリスト教信仰

キリスト教教理入門

コリン・E.ガントン❖著 柳田洋夫❖訳

キリスト教信仰

キリスト教教理入門

コリン・E.ガントン
柳田洋夫❖訳



教文館

現代における三位一体論的神学

カール・バルトの神学を継承しながら、その聖霊論の不十分さを指摘し、克服しようとしたガントン。著者の教義学の構想を知ることができる唯一の書。古代教父、宗教改革者、近現代の神学者たちとの堅実な対話から生まれた、キリスト教教理の最良の入門書。

「本書のタイトル『キリスト教信仰』(The Christian Faith)は、序文に記されているように、F.シュライアマハーの著作の英訳の表題に重なるものです。ガントンは、シュライアマハーが後のキリスト教神学の道備えをしたとして高く評価しつつも、その、信仰論における客観面の欠如、不可知論的な(経験)理解、また、それに伴う様態論的な神理解を批判しています。それは、キリスト教信仰の真实性を論証し、神をあくまでも三位一体の神としてとらえるという、本書をはじめとするガントンの神学全体を貫く課題ゆえのものでもありました。」
(「訳者解説・あとがき」より)

❖著者紹介 コリン・E. ガントン (Colin E. Gunton) 1941年生まれ。1969年からロンドン大学キングス・カレッジで組織神学を教える。著書 『キリストと創造』(須田拓訳、教文館、2003年)、『説教によるキリスト教教理』(柳田洋夫訳、教文館、2007年)ほか。

❖訳者紹介 柳田洋夫(やなぎだ・ひろお) 1967年生まれ。現在、聖学院大学人文学部教授。訳書 ラインホルド・ニーバー『人間の運命』『人間の本性』(共訳、聖学院大学出版会、2017年、2019年)、『悲劇を越えて』(教文館、2022年)ほか。

A5判・並製・320頁・定価4,070円(本体3,700円+税) ISBN978-4-7642-7480-8 C3016